

日本人によくある落とし穴をうまく回避し

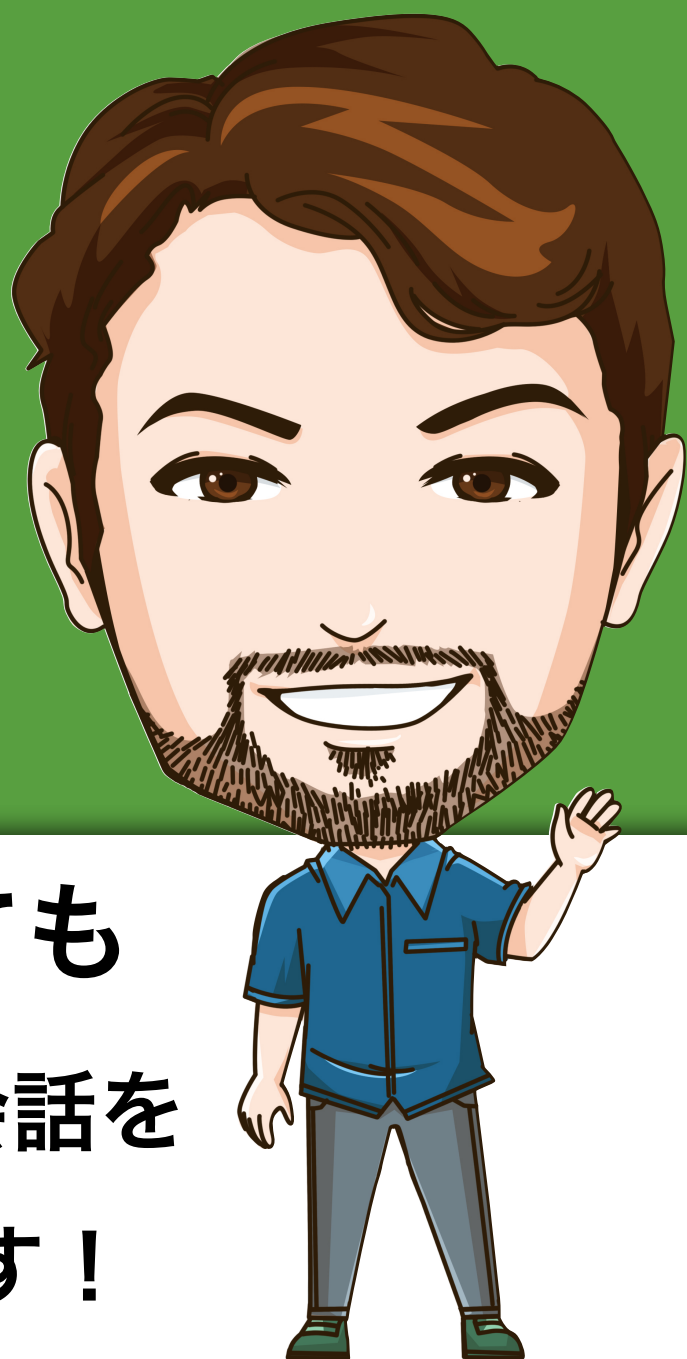
ネイティブが実際に使う英語で

会話を問題なく続けるガイド

英コ ミ 会話を救う

IU-Connect代表者 著者

アーサー・ゼテス



どんな問題が起きても

アメリカ人のように会話を

スムーズに続けられます！

「教科書は絶対につくらない！」と 誓ったのですが・・・

あなたが今、手に（またはデバイスに）持っている教科書はとても特別なものです。
なぜなら、この本はもうすこしで誕生しないところだったからです。

僕は英語コミュニケーションのコーチとして、教科書を一生書かないと誓っていました。

その理由は？

正直にいうと、ほとんどの教科書は結果が出ないと僕は思っています。表紙ではたくさん
のことを約束しているのに、実際その約束が果たされることはほぼありません。

僕の生徒さんの9割は、教科書をたくさん買ったり読んだりしてフレーズを諦めずに学んで
いました。しかし学んだ直後に忘れてしまい、全く活用できていなかったです。

僕も昔、同じような問題に直面しました。

2004年に日本語を学び始めた僕は、最初の4年間で教科書を17冊も買いました。



その結果は？

日本語を話せるようには、なりませんでした。

実際、ほとんどの教科書が「フレーズ」や「会話のトピックス」に関して本当にたくさん
のことを教えています。英語に関する「知識」だけを得たいのであれば、教科書を使うのはす
ごくいいと思います。

しかし、一般的な教科書では、「英語で会話をする」ためにとても重要な要素はほとんど教
えていません。

「会話」はセリフを覚えて読むのではなく、自然に生まれてくるものです。人と繋がるため
の「コミュニケーション」です。

日本語で会話をする時に、あなたは単語やフレーズをただ並べて話をしたりしませんよね？

時には、

言いたいことが相手に伝わらなかったり

いい言葉をご忘れしてしまったり

相手の言うことが聞き取れなかったり・・・

では、そんなとき、英語だったらどうすればいいのでしょうか？

教科書は「コミュニケーション」ではなく、情報だけを伝えるものだと思っていただけ、僕
は絶対に教科書はつくらないと誓っていました。

でも、今まで英語コミュニケーションの指導で蓄積してきたたくさんのノウハウを、英語を
教科書からただ「学ぶだけ」ではなく、「実際に使いたい！」と真剣に思っているあなたと
シェアして、お役にたきたいと思い、今回「会話を救う英コミ」をリリースすることにしま
した。

「会話を救う英コミ」は「一般的な教科書」とどう違うの？

「会話を救う英コミ」では、一般的な教科書では決して教えない、「英会話の落とし穴」を
お教えしています。英語を学び、英語で話そうとすると、いろいろな問題が出てきます。

そんなときに、この本がきっとあなたの役に立つはずです。

この本で学ぶことで、以下のような問題が起きた時でも、あなたは英語でコミュニケーション
を問題なく続けることができるようになります。

次に何を言えばいいかわからないとき

言いたい単語が出てこないとき
相手の英語が聞き取れないとき
あなたの英語が間違っているとき

フレーズや単語だけではなく、会話をする上で最も重要な「非言語コミュニケーションのコツ」や、「英語を身につけやすい考え方」にも取り組んでいきます。

教科書で学んだことを、あなたがスムーズに使えるようになるために、「練習ビデオ」「音声」「練習課題」も用意しました。

英語を話せるように「ならない人」と「なる人」

でも、この本を使うだけで英語が話せるようになるわけではありません。

もしあなたが、ここで学ぶことを「実際に使おう」とする意欲がないのであれば、どんなに頑張っても、英語を話せるようにはなりません。

そして、これからお伝えする3つのことをやってしまうと、ここで学んだことを使う機会は絶対に訪れません。

- 1： 外国人と実際に話すことにチャレンジする前に、英語を完璧に話せるようになるうとすること
- 2： 相手とのコミュニケーションより、英語を間違えずに完璧に話そうとすることに集中してしまうこと
- 3： すでにあなたの周りにはいる外国人（観光客も含め）と話す機会を活かさないこと

でももし、あなたが「会話を救う英コミ」で学んだことを、例えば、以下のような場面で、英語を間違えることを恐れず、実際に使うことに挑戦すれば、あなたはきっと、「英語を話すこと」ができるようになるはずです。

そしてこの本が、会話中に発生する間違いや落とし穴から救ってくれるガイドになるでしょう。

[道案内](#)

[友達との日常会話](#)

[知らない外国人に話しかけること](#)

※IU-ConnectのHPで具体的な方法が無料で学べます

[こちらからアクセスできます。](#)

この本を読むことによってあなたが英語をただ「学ぶだけ」でなく、実際に

「使い始める」ことを僕は願っています。

そして何よりも、あなたが外国人と話す勇気を持ち、実際に話しかけて世界とつながっていくことを心から願っています。

この本に関してご意見を伺いたいです。

「役に立った」もしくは「役に立たなかった」等、ぜひ教えてください。

いつでもarthur@iu-connect.comにメールを頂ければ嬉しいです。

僕は頂いた全てのメールを読んでいます。

I look forward to hearing from you!

アーサーより



Arthur Zetes

目次

はじめに 「教科書は絶対につくらない！」と誓ったのですが	1
第1章 相手の英語が聞き取れない場合、その意味がすぐにわかるコツ	7
第2章 相手の英語が聞き取れてもわからない場合、その意味がすぐにわかるコツ . .	15
第3章 言葉が出てこなくても言いたいことを簡単に伝えるコツ	20
第3章 例文集	29
第3章 復習シート	31
第4章 5つの簡単なステップで会話を楽しく続ける方法	33
第4章 例文集	39
第4章 復習シート	41
第5章 英語講師の80%が見落としてしまうびっくりするほど簡単な発音のコツ . .	43
第5章 復習シート	50
第6章 自分の英語は相手に伝わってる？相手に直接確認して会話を続ける方法 . .	54

第1章 | 相手の英語が聞き取れない場合 その意味がすぐにわかるコツ

少し想像してみてください。

あなたは外国人と話しています。

言っていることは大体わかるのですが、いきなり

「So anyways, aiuztheenkagontuthupar. WAnuCAM?」と聞かれます。

相手は笑顔であなたの返事を待っています。

「えー、えーと...」あなたは心臓がドキドキして、顔が真っ赤になります。

こんなシチュエーション、よくあるのではないのでしょうか？

実は、誰にでもネイティブの英語は聞き取りにくいのです。アメリカ人は単語をつなげて発音し、更に言っていることの半分以上をわざとモゴモゴ言っていますので（後日、その理由をお伝えします！）、聞き取りにくいのは当たり前のことなのです。アメリカ人同士でさえ、相手の英語が聞き取れないことがたくさんあります！

ある日、僕は友達と遊んでいました。バーに入った時、友達は英語でこう尋ねてきました。

「Cow wrong were your ear?」

僕は「えっ、なんて言ってるの?」と思ったので、

「...Sorry, could you say that again?」と友達に言いました。

「Come on, Arthur! Cow wrong were your ear?」

と、友達は言い直してくれたのですが・・・

僕はまだ友達の言っていることが聞き取れず、さらに二回ぐらい聞き返してようやく言っていることが分かりました！

友達は僕に、「How long were you here?」と聞いていただけだったのです。

実は、ネイティブの僕でさえ、こんな簡単なことが聞き取れないこともあるのです！！

英語がペラペラ話せるようになったとしても、相手の言っていることがわからないことがあるのはごく自然です。ですからあなたに目指して頂きたいゴールは、いつでも完璧に聞き取ることではなく、「聞き取れない時に会話をスムーズに続けること」です。

では、相手の英語が聞き取れない時、具体的にどうすればいいのでしょうか？

まずは、リスニングを上達するための重要なポイントについてお話しします。英語を自由に話せるようになった日本人は、このポイントを必ずマスターしています。

英語を話せる日本人が使うリスニングのコツ

英語を１００％聞き取れなくても気にしない

試験などのリスニング問題だと、英語を１００％聞き取れなくてははいけません。聞き取れないと点数が引かれてしまうからです。でも、これが会話の場合、どのくらい聞き取ればいいのかのでしょうか？

実は、相手が言っていることを１００％聞き取れなくても大丈夫なのです。

なぜなら、会話でのコミュニケーションの目的は「英語を完璧に話す」ことではなく、「言いたいことを伝えて相手と繋がる」ことだからです。

正直にいうと、僕は日本人と会話をする時、聞き取れているのは６０％くらいです。そうです！６０％しか聞き取れなくても、日本語での会話を続けることができるのです。

全体的な意味を捉えてみる

実は、人間は相手の言語が５０％しか聞き取れなくても、「非言語コミュニケーション」、もしくは「シチュエーション」から全体的な意味がわかります。

アーサーの経験：

僕が日本に初めて住んだ頃、コンビニが大好きでした。日本のコンビニの食べ物はアメリカのより何倍も美味しくて、何でも買えるので本当にはまっていました。

でも、いつ行っても、レジの店員さんに商品とお金を渡す時に何か聞かれ、それが早すぎて完璧には聞き取れませんでした。

それでもシチュエーションや「～をお持ちでしょうか」という30%だけ聞き取れた部分から予想して考えてみました。きっと、「ポイントカードをお持ちでしょうか」という意味だろうと推測することができました。

「～をお持ちでしょうか」しか聞き取れなかったのですが、店員さんが僕に伝えたかったことは理解でき、返事をすることができました。

聞き取れなくても、会話を続けてみる

僕は、アメリカ人との会話で聞き取れない時、まずは会話を続けてみます。なぜかという、話をもう少し続けたら全体的な意味がわかることが多いからです。

たとえ意味がわからなくても何か問題になるわけではありません。会話の目的は、完璧に理解できることではなく、相手とつながって仲良くなることです。

会話が部分的にわからなくても、相手と仲良くなれるのであれば気にする必要はありません。

聞き取る必要がある時

でも正直にいうと、相手が言っていることを正しく聞き取らなければならない時も実際にあります。それはどういう場面でしょうか？

相手があなたの返事を待っている時

相手が何かを言って、あなたの返事を待っています。あなたはちゃんと聞き取れていなかったなので、どう答えればいいのかわかりません。普段は相手のボディールンゲージですぐにわかるはずなのに、相手の反応がなくて困ってしまいます。

会話全体の要約さえわからない時

たまに、あなたが聞き取れなかった部分が全体の意味を理解するのにとても重要で、相手が言っていることが全くわからなくなってしまうことがあります。そんな時は、会話をうまく続けるために相手に「意味を確認する」必要があります。

相手の英語が聞き取れない時に、役立つ英語

では、そんな場面に直面したら、どうすればいいのでしょうか？
相手に言ったことをもう一回繰り返し、ゆっくりと話してもらいます。

「I'm sorry」で区切る

まずは、「I'm sorry」と言います。この「I'm sorry」は「ちょっと待ってください」という意味です。

注意！！発音によって意味が変わります。

この「I'm sorry」のイントネーションは、「sorry」の語尾を上げることがポイントです。イントネーションを下げてしまうと、言葉の意味が完全に変わってしまいます。イントネーションが下がる「I'm sorry」は「申し訳ない」という意味です。

音声録音を聴きながら、正しい発音に気をつけましょう。

(音声) 1-1

A: Hey, wasn't that arayit?

B: I'm sorry...

※音声録音は講座のページからぜひダウンロードしてお聞きください。また、本章のフレーズの音声は[こちらのリンクからダウンロード](#)できます。

この「I'm sorry」を言えば、相手はきっと待ってくれます。もしかしたら続きを言わなくてもあなたが言いたいことをわかってくれて、もう一度言い返してくれるかもしれません。

次に・・・

もう一回言ってくれるように頼む

相手にもう一回言ってくれるように頼みます。いろいろな言い方がありますが、より簡単に自然な言い方は以下になります。

(音声) 1-2, 1-3

「Could you say that again?」

「Could you repeat that?」

フレーズの解説：

「could you」はお願いをする時に良く使うフレーズです。

多くの日本人は「repeat（繰り返す）」という言葉をよく使います。しかしこの言葉は少し丁寧で、通常の会話ではあまり使われていません。

前者の「say again」の方をネイティブはよく使います。

「Repeat」 = 丁寧

「Say again」 = カジュアル（よく使われる）

「That」とは相手が言ったことを指す言葉です。

「Could you say that again?」

このフレーズを使うと、相手はきっともう一回言い返してくれるはずです。

でもさらに問題があります。僕の個人的な経験ですが、日本人と話すことに慣れていないネイティブは、しばらくはゆっくりと話してくれます。でもそのあとはいつも通りの早口に戻ってしまうことがよくあるのです。

では、相手がずっと聞き取りやすく話してくれるために、あなたはどうかしたらいいのでしょうか？

聞き取れない理由を伝える

心理学の研究によって、相手をお願いするときに「理由を伝えれば相手が従う可能性が3倍になる」ということが明らかになっています。ですから、あなたがお願いをする時、「理由」も一緒に伝えることをおすすめします。

例えば、お願いする前に以下のように理由を伝えます。

(音声) 1-4, 1-5, 1-6

「I'm sorry, but **I'm still learning English**. Could you say that again?」

「I'm sorry, but **I couldn't catch that**. Could you say that again?」

「I'm sorry, but **I couldn't understand that**. Could you say that again?」

フレーズの解説

このフレーズの「but」は、丁寧な遠慮を表します。「But」を必ずしも言う必要はありませんが、お願いのトーンを丁寧にする効果があるので使うことをおすすめします。

1つ目の理由は「まだ英語を勉強中です」という意味です。

「I'm bad at English」または「I can't speak English」というネガティブな理由は会話の雰囲気をも少し悪くします。

ここではよりポジティブな「英語は勉強中なんです」という表現をおすすめします。

2つ目と3つ目の「I couldn't catch that (そこ、聞き取れなかったです)」と「I couldn't understand that (そこ、わかりませんでした)」は、自分は英語ができないというネガティブな感じではなく、その会話の一部分だけがわからなかったという意味になります。

あまりにも謙遜しすぎると、会話の雰囲気は暗くなってしまうのでご注意ください。

全体的にゆっくりと話してくれるようにお願いする

今まで学んだフレーズは

「I couldn't catch that, could you say that again?」

「I'm still learning English, could you repeat that?」

このフレーズは聞く前に相手が言ったことを一つだけ指します。相手はあなたに合わせてその箇所だけ聞き取りやすく言ってくれるかもしれません

もし全体的にゆっくりと話してもらいたいなら、以下のフレーズを使います。

(音声) 1-7

「Could you speak more slowly?」

たとえば、

(音声) 1-8

「I'm sorry, but I'm still learning English. Could you speak more slowly?」

この場合、相手が直前に言った箇所だけではなく、相手が言ったこと全体を指すので相手はきっと聞き取りやすくゆっくり話し続けてくれます。

お疲れさまでした！

今日はこれで以上になります。

これでもう、今度相手の英語が聞き取れなくても、あなたはスムーズに会話を続けることができます。

第2章を読む前に・・・

- ① このセクションのビデオレッスンを観てください。
- ② **Speed Speaking**レッスンを受けてください。
- ③ 練習動画を観て、練習してください。

第2章 | 相手の英語が聞き取れても わからない場合 その意味がすぐにわかるコツ

よくある、このシチュエーション。

相手と英語で話しています。でも・・・

相手が言っている「音」は聞き取れているのですが、言っている「意味」がイマイチわかりません。

「I'm sorry, could you say that again?」

と聞いても、相手が言っている意味が全くわからないままです。

心臓がドキドキ、胃がギュッと締めつけられ、今にも逃げ出したい気分です。

こんな時、どうすればいいのでしょうか？

前回、英語が聞き取れなくても助かる英語を学びました。でもたまに、相手が言っている単語がちゃんと聞き取れても、その単語の意味がわからないから困ってしまうことがあります。

英語が話せる日本人の理解のコツ

単語の意味がわからなくて困ることって、きっと英語だけとは限りません。日本語でも、誰かと話したり、本を読んだりするときにわからない言葉にたまに出会います。その場合、あなたはどうしますか？日本語で話すときのあなたと、英語をスムーズに話せる日本人はきっと、以下のポイントに気をつけているのでしょうか。

100%わからなくても気にしない

あなたが日本人同士、日本語で話しをしているとき、相手があなたの知らない言葉を使ったらどうしますか？きっと、何もしません。

英語でも１００％理解する必要はありません。実は、１００％わからなかったとしても、以下のことができるのです。

全体的に意味を捉えてみる

ネイティブはわからない言葉に出会っても気にしません。なぜなら会話から全体的な意味がわかり、その言葉の大体の意味がなんとなくわかります。

もしくは、その言葉自体が会話上そこまで重要でなければ、わからなくても会話は成り立ちます。

完璧でなくても、会話を続けるくらいなら何の問題もありません。
でも、言葉がわからなくて困ることも実際にはあります。

例えば・・・

相手がわからない言葉と言った後、あなたの返事を待っているとき

もし相手があなたの返事を待っているようであれば、直前に相手が言ったことを大体わかっている必要があります。

言葉の意味がわからなくて、トピックスの意味が全くわからなくなるとき

例えば、話しが変わって同じようなことばが何回も出てきます。でもイマイチわからないから会話全体の流れもわからなくなります。

このような場合は、意味を確認する必要があります。

意味が分からないときに、この英語が役に立つ！

どうしたら会話の流れを邪魔せず、スムーズに意味を確認できるのでしょうか？
前回と同じように、会話を一回止めなければいけません。

ですから・・・

まず「I'm sorry」と言います。

※前回の「I'm sorry」を先に使います。詳しくは、【第１章 ４ページ】を読んでください。

意味を確認する

ネイティブが使う言い方はいろいろありますが、一番いいやすいのは以下の2つです。

(音声) 2-1

「What do you mean by (分からない言葉)?」
(分からない言葉) ってどういう意味ですか？

このフレーズで、相手が言った分からない言葉の意味が聞けます。
でも、分からない言葉なので、うまく発音するのも難しいです。そんな時は、その言葉を言う代わりに、簡単に「that」を使います。

(音声) 2-2

「What do you mean by that?」

ポイント：「What do you mean by that?」はネイティブも相手の意味を確認するときによく使います。これはまさにネイティブのフレーズです！
このフレーズを使えば、相手は言葉の意味を説明してくれます。

外国人と話すことに慣れていないネイティブは、どんなに丁寧に説明しようとしても、更に複雑な言葉を使ってしまいかもしれません。つまり、説明してもらってもあなたはまだ意味が分からないままです。

でも安心してください。その壁を乗り越える方法があります！

簡単に説明してもらうようにお願いする

相手にわかりやすく説明してもらうように、簡単にお願いができます。

(音声) 2-3

「Can you say that in simple words?」

この場合、前回学んだように「理由」を伝えておく方が、相手は納得しやすいです。

たとえば、

(音声) 2-4

「I'm sorry, but I'm still learning English. Could you say that in simple words?」

全体的な例：

(音声) 2-5

A: That wazareelblast!

B: I'm sorry, could you speak more slowly?

A: Oh, I'm sorry. That was a real blast.

B: I'm sorry, what do you mean by "blast?"

A: Oh, I mean a really fun time!

100%理解しようとししないでください。

繰り返します。相手が言っていることを100%理解しようとししないでください。

相手とつながって仲良くなることではなく、学校のように「完璧に英語を理解すること」を重視すると、コミュニケーションが非常に難しくなってしまいます。会話を相手に任せて、できるだけ付いていってください。

これであなたは、相手の英語が分からなくても、会話を自然に、ネイティブのように続けることができるようになりました！

第3章を読む前に・・・

- ①このセクションのビデオレッスンを観てください。
- ②Speed Speakingレッスンを受けてください。
- ③練習動画を観て、練習してください。

第3章 | 言葉が出てこなくても 言いたいことを簡単に伝えるコツ

このシチュエーションは、生徒さんにとって何よりも悔しいです。

英語で言いたいことがたくさんあります。
なのでブログを読んだり、動画を見たり、ポッドキャストを聞いたりして
1日中あっちこっちで英語を学んだりします。

道案内、チェック！
挨拶、チェック！
ネイティブがよく使うフレーズ、チェック！

それで早速、外国人と英語で会話をしようとしたら・・・
頭が真っ白
今までしっかり勉強してきた単語が全く出てきません。

なんとなく片言で、会話をできる限り続けようとしているのですが、学んだ単語が全く使えないままです。言いたいことがあるのに、どうしても伝えられないのです。
しかも、会話が終わった瞬間に、なぜか今まで忘れていた英語をちゃんと思い出します。

本当に、悔しいと思いませんか？

でもこんなシチュエーションってよくあるはずですよ。

単語をたくさん学ぶ必要がない理由

正直に言うと、コミュニケーションのために英単語をたくさん覚える必要はありません。
あなたは5歳の頃、日本語の単語をあまり知らなかったのに、ちゃんとコミュニケーションが取れていました。それってなぜでしょうか？

単語とは、複雑なイメージや感覚をまとめて省略しただけなのです。
「コーヒー」や「靴」という言葉は一見簡単に思うかもしれませんが、実際は複雑なイメージを伝えている言葉です。

「挽いたコーヒー豆にお湯を通して抽出した液体」の代わりに「コーヒー」と言います。
「快適に歩くために足に履く物」の代わりに「靴」と言います。

単語1つずつ、一見どんなに簡単に見えても、特定のイメージや感覚を表現しています。

このイメージと感覚を「コトバの本質」と僕は呼んでいます。

日本語の英訳が分からなくても、「単語」ではなくその単語の「コトバの本質」を伝えようとすれば、相手はきっと分かってくれます。

英訳のない日本語にもぴったり

英語には直接翻訳できない日本語もたくさんあります。

例えば「懐かしい」「恋しい」「空気を読む」などなど、本当にたくさんあります。

この直訳のない言葉を英語ではどうやって伝えるのでしょうか？

相手は「read the air（空気を読む）」という直訳は分からないかもしれませんが、「They don't tell you, but you understand the people's feelings.（言葉で伝えなくても、理解できる気持ちや感覚）」というコトバの本質であればわかるはずです。

必要な情報は既に分かっているはず

単語をひと目見て「コトバの本質を説明する」ということはとても難しく感じるかもしれませんが、でもあなたはきっと、その説明のために必要な英語の文法や単語を学校で学んだことがあるはずです。

「中学校の英語を卒業する」必要はありません。逆に、説明が簡単になればなるほど、相手にとってはわかりやすくなります。

新しい単語を学ぶ必要はありません。コミュニケーションを取るために必要なこと全てを、あなたは既に分かっているのです。

単語が出てこなくても、「コトバの本質」を説明して言いたいことを何でも伝える方法

イメージや感覚を想像する

まずは、言いたいことの英訳が分からないとき、言いたいことのイメージや感覚を想像します。

例として、「懐かしい」という英訳のない単語を英語で説明しましょう。説明するときに、まず視野を広げ、その後だんだん絞っていきます。

では最初に、言いたいことの「種類」を考えましょう。

「懐かしい」というのは気持ちですから、「feeling」にしましょう。それから、「懐かしい」によく伴う気持ちを想像していきます。

懐かしくなったとき・・・
過去を思い出す。
嬉しくなる。
過去に戻りたい。
相手に伝えたい。

これらは、「懐かしい」のコトバの本質です。1つずつ英語で説明していきます。

相手に言いたいことの種類を言う

先ほど「懐かしい」は「feeling」と決めたので、相手にこう言います。

(音声) 3-1

「The feeling that...」

フレーズの解説

「the」は、特定のことを指します。「懐かしい」という気持ちは唯一ですから「the」にします。相手に「特定なことを伝えるから聞いてね」という意味も伝わります。

「feeling」は、感情を示す言葉の種類です。物理的なものの場合は「thing」を使います。人物の場合は「person」などになります。

「that」は形容詞となる長い文章の接続詞です。この言葉は日本語に存在しないので説明が難しいですが、以下に「that」の例文をあげてみます。

(音声) 3-2, 3-3, 3-4

This is the person that I met yesterday.

こちらは、昨日会った方です。

「The book that was in the bookshelf was old.」

本棚に置いてある本は古かったです。

「This is the watch that my father owned.」

これはお父さんが持っていた時計です。

このように、「that」を伴うことで「種類」を説明する文章ができます。先ほどの「懐かしい」を説明するフレーズを英語にして、「that」の後につなげるだけです。

(音声) 3-5, 3-6, 3-7, 3-8

過去を思い出す。→ 「you remember the past」

嬉しくなる。→ 「you get happy」

過去に戻りたい。→ 「you want to go back to the past」

相手に伝えたい。→ 「you want to tell your friend.」

ポイント：一般的な行動を意味する「you」の使い方

このフレーズに出てくる「you」は「あなた」という意味ではありません。人間の一般的な行動を表現するときは、主語が「you」になるのです。

(音声) 3-9, 3-10

日本では、箸で食べます。

「In Japan, you eat with chopsticks」

アメリカでは、道路の右側を運転します。

「In America, you drive on the right side of the road.」

この「you」は「一般的に人はこうする」という意味です。

まとめてみましょう

では、「懐かしい」と言いたいのに、その英単語が出てこないとき、以下のようにわかりやすく説明してみましょう。

(音声) 3-11

The feeling that
you remember the past,
you get happy,
you want to go back to the past,
you want to tell your friend.

この文章は長いですが、構成している説明部分はそれぞれが短く、単語も中学校の頃学んだレベルです。

でもこれであれば、アメリカ人ならだれでも「懐かしい」の意味を分かってくれるはずです。相手がわかってくれるまで、イメージや感覚を中学レベルの単語で説明しましょう。

ポイント：特徴を伝えるとき

「懐かしい」の例では、「you remember ~, you get ~, you want to ~」など人がよくとる行動を説明した文章ばかりでした。でも物理的な物の場合、人の行動だけではなく「その物の特徴」も説明します。では、どう言えばいいのでしょうか？

「that」の後に、単に動詞を使って特徴を伝えます。

(音声) 3-12, 3-13

例えば：

コカ・コーラ→「The drink that is black. It has a sweet taste.」

晴れの日→「The day that has no rain.」

会話で使う方法

この「コトバの本質を伝えるコツ」はとても便利ですが、会話中にいきなり言葉を説明したら不自然です。ではどうやって会話の中で自然に使うのでしょうか？

意外と簡単です。言葉を説明する前に単に「Do you know...」と言っておきます。

(音声) 3-14, 3-15

A: How do you feel?

B: I feel... Do you know the feeling that (気持ちの説明)

A: Where did you go today?

B: Today I went to... Do you know the place that (場所の説明)。

これで、あなたは単語が思いつかなくても問題なく言いたいことを伝えることができます！

第4章を読む前に・・・

- ①このセクションのビデオレッスンを観てください。
- ②Speed Speakingレッスンを受けてください。
- ③例文集を参考にしながら、復習シートを完成させてください。

上級の英語文章構成

このコツを使うことで、あなたの英語はアメリカ人の誰にでも分かるようになります。でも正直に言うと、このコツだけに従っても、文法的に間違っている文章になる場合があります。

でも、それを気にしてはいけません。

重要ポイント：英語を完璧に話さなくてもいい

日本の英語教育の目的は「完璧な英文をつくる」ということでした。そのため、「英語を間違えちゃだめ」「完璧に話せないと意味がない」と思っている日本人が非常に多くいます。

でも、それはコミュニケーションではありません。

英語を完璧に話そうとすると逆に、コミュニケーションがとれなくなるのです。英語を間違えないよう、完璧な文章を長い時間かけて頭の中で構成している間に、会話の流れが途切れ途切れになってしまいます。その結果、会話がお互いにつまらなくなり、うまく続けられなくなるのです。

コミュニケーションは「自分のメッセージを相手に伝えること」です。なので、文法的な間違いがあっても、違う単語を使っても、言いたいことが通じているならコミュニケーションは取れています。

ポイントは、完璧に話すことなく、「会話を自然に続けること」です。

今から紹介する文章構成のコツはおまけなので、実際に必要ではありません。もしこのコツがスムーズに使えないようであれば、使うのをやめてください。

「that」を言葉の種類に合わせる

「that」とは文法用語でいうと関係代名詞です。ただ、関係代名詞は複数存在します。

「that」は間違えてもあまり違和感がない関係代名詞なので、今までそれだけをお勧めしてきましたが、実は名詞に合わせて関係代名詞を変える方が本当はより自然なのです。

注意！

ネイティブでさえ関係代名詞を間違えることがあるので、もし間違えたとしても気にしないでください。

以下は、すべての関係代名詞と正しい使い方です。

「thing」 → 「that」

「Natto is the thing that I ate for breakfast.」

(納豆は私が朝ごはんで食べた物です)

「person」 → 「who」

「Fred is the person who works at the company.」

(フレッドはその会社で働いている人です)

ポイント：目的語の「whom」という関係代名詞もあります。しかし話すときにあまり使われなくなり、丁寧な文章だけに使われます。

「place」 → 「where」

「Japan is the place where I live.」

(日本は私が住んでいる場所です)

「time」 → 「when」

「This is the time when the sakura bloom」

（今は桜の咲く季節です）

「the（名詞）（関係代名詞）」 → 「（関係代名詞）」

アメリカ人は普段話すときになるべく短い文章を使います。なので「関係代名詞」だけを使うことも多くあります。

「the thing that」 → 「what」

「Natto is the thing that I ate for breakfast.」

「Natto is what I ate for breakfast.」

「the person who」 → 「who」

「Fred is the person who works at the company.」

「Fred is who works at the company.」

「the place where」 → 「where」

「Japan is the place where I live.」

「Japan is where I live.」

「the time when」 → 「when」

「This is the time when the sakura bloom」

「This is when the sakura bloom」

繰り返します。この上級文法のコツは、あくまでもおまけです。使わなくても会話をととても自然に感じるようであれば使う必要はありません。もしスムーズに使えなかったとしたら、簡単な「that」だけを使うのがおすすめです。

第3章 | 例文集

Below are REAL examples from students. The English is not perfect, but what they say is easily understandable. Can you guess the meaning?

ここで、生徒さんたちから上がってきたリアルな例文をご紹介します。英文は完璧ではありませんが、みなさんが言いたいことは伝わってくると思います。まずは説明の部分を読んでみて、どんな言葉を表現しているのか意味を考えてみてください！

Mobile Wifi Router

The box shaped thing that needs when we connect to the internet and we can bring it wherever we go.

The Moon

The place where old Japanese people believed that rabbits lived, and Armstrong land in 1969.

Rapunzel

The person that is a heroine of the Disney movie. She is very long hair.

A Business Trip

The thing where I go to somewhere on few days for business. I usually use airplane or train.

Autumn Leaves

The thing that can look in autumn. It's very beautiful view. It's like a fire.

A Broom

The thing that is used to clean the tatami or the floor. It is made of wood and thin feather like dried grass.

A Belt

That thing that is made of leather and is used to hold up your pant. It's about 2cm wide and about 1 meter long.

A Watch

The thing that is made of iron and teach the time. Most people wear it on the left wrist.

A Marble

It is made of glass. The shape is circle. It is in bottles of soda that we call Ramune. Childrens plays by using it.

iPad

It's square. You have to turn it on when you enjoy it. You can watch almost everything with it. You might be able to see your favorite person! You can get a lot of information, too. After enjoying it, you should turn it off. Your mom might say "Don't enjoy it too much."

Daikon

The vegetable that is kind of root and white. It's thin and has like a head at the top of it. The head is a bean, I think. The head part is light yellow. The taste is very subtle so you even might not be able to taste it. I think you've eaten it before when you had Korean food. I love eating them with kimchi. I'm not sure you have this vegetable in the state.

第3章 | 復習シート

以下の言葉を説明してください。

答えは1つではないため、解答例は用意していません。もし、質問がありましたら、アーサー先生へ（arthur@iu-connect.com）ご連絡ください。

お箸

The _____ that you

_____.

Many Japanese people _____.

It is made from _____.

図書館

The _____ where you

_____.

_____.

_____.

お昼

The _____ when you

_____.

恋しい

The _____ that you

むなしい

The _____ that you

お正月

The _____ that you

_____.

_____.

_____.

うまみ

The _____ that you

_____.

_____.

_____.

第4章 | 5つの簡単なステップで 会話を楽しく続ける方法

こんな場면을想像してみてください。

あなたは英語で話しています。

できるだけ楽しく話そうとしているのですが、なぜか会話がスムーズに進んでいません。

何か言ってもすぐに沈黙したり、焦ったりします。スムーズに話してどうしても相手と仲良くなりたいのですが、こんな会話では無理だ・・・とがっかりします。

会話を楽に進めるためには、どうすればいいのでしょうか？

問題はあなたが日本人だからではありません。

英文法やフレーズに絞りすぎた英語レッスンがあまりにも多く、スムーズに会話をするテクニックについては学んでいないからです。英会話スクールでも、たいてい講師が質問をして生徒さんが答えるだけです。

質問－回答－質問－回答－質問－回答・・・この繰り返しです。

でもあなたの日常生活は、こんな会話ばかりですか？きっと違いますよね。

でも英語になると、こんな会話の形でしか学んでいないので、自然な会話を続けることが難しいのです。

会話をスムーズに続けるために、山のようなフレーズや文法を学ぶ必要は一切ありません。

では、どうすればいいのでしょうか？

会話の目的を忘れない

世界的に有名な「7つの習慣：成功には原則があった」の著者であるスティーブン・コヴィー氏はこう言いました。

Begin with the end in mind.
「目的を持って始める」

つまり、新しいことを始めるときには、その「最終的な場面」を想像して、それを「目的」として始めるということです。なので会話をする前に、会話の目的を覚えておきます。

あなたはそもそもなぜ英語で話したいのでしょうか？

なぜ外国人と話したいのでしょうか？
会話がどんな形になってほしいと思っていますか？
会話が終わった後、どんなことをやりたいと思っていますか？

英語で会話をするものの最終目的は？

完璧に話すことではなく、単語をたくさん覚えることでもなく、給料を上げることでもない。

あなたが英語で会話をする目的は「コミュニケーション」です。

二人のアイディアを伝えあい、お互いに繋がることです。
相手と繋がること、それがコミュニケーションです。

では相手と繋がり、仲良くなるためには、どうやって会話を続けられればいいのでしょうか？

笑顔を絶やさない

実は、英語をどんなにうまく話せても、相手を嫌な気持ちにさせることは意外とよくあります。

僕の生徒さんも、このような問題を抱えていました。
英語がスラスラ話せ、しかも笑顔がかっこいいんです。間違えもそんなにありませんでした。
でも、話しているときに僕は何かが違うと感じました。学んだフレーズや会話の流れが完璧だとしても、彼と話すときはなんだかいつも変な気分でした。

なぜだと思いますか？

実は、彼は英語を間違えることをとても心配していたのです。
落ち着いて気持ちを込めて優しく話すより、英語の「正しい言い方」に集中しすぎて悩んでいたのです。

だから僕と英語を通して繋がりたいと言うより、自分の英語のことばかり気にしている彼のエネルギーを感じ、変な気分になっていたのです。

でももし彼が笑顔で話してくれていたら、僕はとても気持ちが楽になり、会話が一気に楽しくなっていたはずです。

ですから何よりも、笑顔を絶やさずに話す方が相手と繋がりやすいのです。

では一体、笑顔でどんなことを話せばいいのでしょうか？

たった5つのステップで 会話を自然に続ける簡単なメソッド

ある日、ボストンのバーでアメリカ人の友達と話していました。その前に僕は生徒さんとのレッスンがありました。その日、生徒さんはとても悩んでいて、悔しがっていました。

「アーサー、会話をしたいけどどうすればいいの？いつも途中で迷っちゃって言葉が出てこない！」

そのとき僕は、会話が複雑すぎるのが会話を続けられない原因だと思っていて、「一般的な英会話を自然に続ける方法」があるなんて知りませんでした。

でも、バーで友達との会話をよく観察していたら、目からウロコの発見をしました。

実は、日常的な英会話はたった5つのステップで自然にできるのです。難しい単語を覚える必要ありません。

① 「How」 か 「What」 で始まる質問をする

まずは「How are you?」または「How was work?」などの質問をします。
相手の答えを聞いたら、次に・・・

(音声) 4-1, 4-2, 4-3, 4-4

「What did you do today?」

「How was your weekend?」

「What did you do after work?」

「What is new with you?」

② 共感する相槌を打つ

相手の答えに合わせて相槌を打ちます。

ポイント：英語の自然な相槌は「That is」の後に共感する言葉をつなげるだけです。相手の気持ちに合わせて言葉を選びます。

もし良いことだったら「That's good!」「That's nice!」等、相槌を打ちます。

もしあまり良くないことだったら、「That's tough!」「That's difficult!」等、相槌を打ちます。

(音声) 4-5, 4-6, 4-7

A: I had to work all day.

B: That's tough!

A: I went to Disney Land!

B: That's great!

A: I read a new book.

B: That's interesting!

③自分に関することを伝える

次に、相手の答えに関する自分のことを伝えます。

例えば相手が「Work was tough」と言った場合、あなたは「That's tough! I went to work, too」と言います。

ポイントは、「相手と共通することを言う」ということです。

もし相手のことばかり聞いていると、会話のバランスが悪くなりあまり楽しくありません。でもこのステップはお互いのことを知り合って、仲良くなるチャンスです。きっとこの先の会話が楽しくなります。

④しばらく待つ

次に、相手に会話をしばらく任せます。でも、相手ばかり話しをしていると会話のバランスが悪くなります。相手はどうやってこの先会話を続けたらいいか実は迷っているかもしれません。なので2、3秒待っても相手が何も言わなくなったら、次のステップに行きます。

⑤相手の答えに関連する質問を、「How」か「What」で切り出す

最後に、第1のステップに戻り、また質問をします。

会話が自然に流れるように、相手の初めの答えに関する質問がいいです。
1つ目の質問が「How」だったら、次の質問は「What」になります。

(音声) 4-8

A: How was work?
仕事どうだった？

B: Work was really long...
すごく長かった～。

A: That's tough! Work was long for me, too... What did you do at work?
大変だったね！こっちも仕事長くてさ…。どんな仕事したの？

1つ目の質問が「What」だったら、次の質問は「How」になります。

(音声) 4-9

A: What did you do today?
今日何してた？

B: I went grocery shopping.
買い物に行った。

A: That's nice! I got a haircut... How was grocery shopping?
いいね！私は髪切ってきた。買い物どうだった？

一見難しそうに感じるかもしれませんが、練習すればすぐに慣れるはずです。
これであなたはもう、問題なく会話を自然に続けることができます！

第5章を読む前に・・・

- ①このセクションのビデオレッスンを観てください。
- ②Speed Speakingレッスンを受けてください。
- ③復習シートで練習してください。
- ④例文集を参考にして、相槌の練習をしてください。

第4章 | 例文集

第1の会話

A: How are you doing?

B: I'm doing good, you?

A: I'm doing good, thanks. What did you do today?

B: I went to work - same as always.

A: That's rough. I went to work, too.

B: How was it?

A: It was ok... I had a lot of things to do.

B: Yeah, that's tough. Hope you do well!

第2の会話

A: How was your vacation?

B: It was great! I went to Hawaii! What about yours?

A: It was good, I stayed at home.

B: That's relaxing. What did you do at home?

A: I just watched movies and spent time with my friends.

B: That's great, I love movies. What movies did you watch?

A: I watched some really old American movies.

B: That's interesting! I've never seen those.

第3の会話

A: What are you doing later today?

B: I'm going to go jogging and then make dinner.

A: That's great! I love jogging. How often do you jog?

B: I jog maybe 3 times per week? Sometimes 4.

A: That's great! I only have time to go on the weekends.

B: Come on, everybody has time to go, you just have to make time.

A: Yeah... I guess you're right.

第4章 | 復習シート

以下の会話を読み、続きの会話を考えて記入してみてください。

答えは1つではないため、解答例は用意していません。もし、質問がありましたら、アーサー先生へ（arthur@iu-connect.com）ご連絡ください。

1.

A: What did you do today?

B: I went hiking today!

相槌： _____

自分のこと：

質問：

2.

A: What did you do today?

B: I went to work like always.

相槌： _____

自分のこと：

質問：

3.

A: How was work?

B: Work was boring... overtime again.

相槌： _____

自分のこと：

質問：

4.

A: How was work?

B: It was great. I finished a major project.

相槌： _____

自分のこと：

質問：

5.

A: What will you do tomorrow?

B: I'm going to buy a ticket for my trip to America.

相槌 : _____

自分のこと :

質問 :

第5章 | 英語講師の80%が 見落としてしまうびっくりするほど 簡単な発音のコツ

多くの日本人が1番恥ずかしいと思ってしまうことが「英語の発音」です。

「もし伝わらなかったらどうしよう？」

「ネイティブは発音が悪いと嫌がるかも」

あなたも、こう思ったことはありませんか？

英語と日本語の発音は極めて違うため、アメリカ人も日本語を正しく発音することがとても難しいです。2004年から日本語を学び、今日本に住んでいる僕でさえ、日本語の発音はあまりうまくないと自分では思います。

ですが、僕は日本人に「発音きれいですね」「発音すごく自然ですよ」とよく言われます。

僕は決して発音を真似するのが得意なわけではありません。ただ1つ、とても見逃されやすい発音のポイントを押さえたことで、僕の日本語の発音は自然だと思われるようになりました。

僕の生徒さんも、このポイントを押さえた途端、英語の発音が急に自然になります。

従来の発音レッスンが見落としていた最重要ポイント

このポイントを、ほとんどの英語講師が見落としています。かわりに「r」と「l」の発音を教えたり、「th」「v」の発音など、細かい「音」だけを教えてしまうのです。でも音1つ1つを正しく発音するよりも、発音にはもっと大事なことがあります。

それって、何でしょうか？

注意！！このセクションでは特別な用語をご紹介します。正式な言語学の専門用語ではなく、わかりやすく説明するために僕が名付けた用語です。

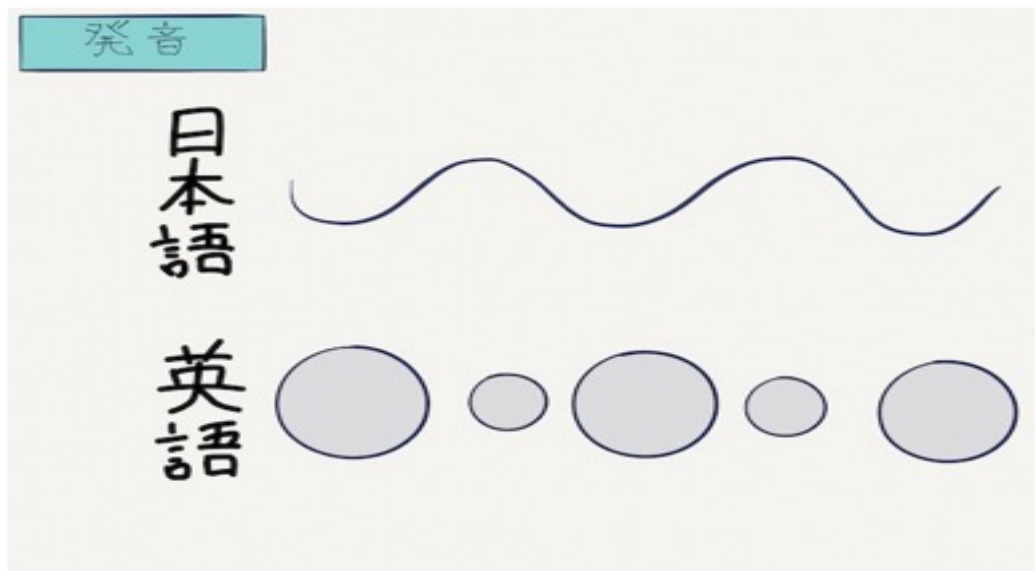
発音の基礎

リズム

言語にはそれぞれ独特なリズムがあります。相手が聞き取りやすく話すためには、英語のリズムが最も重要です。この会話のリズムによって、言葉の意味が変わり、相手に伝わるメッセージが大分違ってきます。

まずは、日本語と英語のリズムについて説明します。

日本語は「イントネーション」、英語は「強弱」



【日本語】

日本語はイントネーションに基づいた言語です。音の高さによって言葉の意味が変わるのです。

音の高さのレベルは2つあります。

「低音」と「高音」です。

例：

クモ：「雲」と「蜘蛛」

アメ：「飴」と「雨」

ハシ：「橋」と「箸」と「端」

上記の例は発音は同じなのですが、音の高さがそれぞれ違い、言葉の意味も全く異なります。

【英語】

英語は強弱に基づいた言語です。強弱による音の高さ、長さ、音量によって言葉の意味が変わるのです。強弱のレベルは2つあります。

「弱音」と「強音」です。

強音：

長い、高音、母音をしっかりと発音する

弱音：

短い、低音、母音はどう発音してもよい

例：

(音声) 5-1
desert (砂漠)

「desert」の「de」は「ert」より高くて長い発音です。

もし「ert」が強音だったとしたら、意味は「dessert(デザート)」になります。
音はどちらも一緒ですが、強弱によって言葉の意味が変わります。

(音声) 5-2
desert (砂漠) dessert (デザート)

これがアメリカ人の日本語と日本人の英語がおかしく聞こえる理由です。アメリカ人は日本語で話す時にイントネーションではなく強弱で発音します。日本人は英語で話す時に強弱ではなくイントネーションで発音します。

発音が上手でも、強弱がないと聞き取れない

大学の頃、日本人の友達がありました。彼女は英語の単語、言い方、「r」と「l」の区別がほとんど完璧にできていました。でも問題がありました。

彼女は英語を話す時に、「強弱」を全く意識していなかったのです。

ある日、バスに乗って英語でおしゃべりしていました。僕は会話を楽しく続けようとしていたのですが・・・

なんと僕はその彼女の言っていることが、ほぼ聞き取れなかったのです！

いつも「I'm sorry?」「Can you say that again?」「What did you say?」と聞き返してしまっていました。

単語の発音があまり上手でなくても、「リズム」がわかるようになれば、相手が聞き取りやすい英語を誰でも突然話せるようになります。

あなたの英語がちゃんと聞き取りやすくなるように、強弱の基礎をご紹介します

アメリカ英語の強弱：基礎的なルール

①「強音」は意味の根幹：しっかりと発音する

単語の「強音」は意味を持つ音です。「母音 (a, i, u, e, o)」をしっかりと発音しないと、意味が変わってしまいます。

(音声) 5-3

例：「tomorrow (to**MO**rrrow)」

「tomorrow」の「mo」の「o」は必ず、「オウ」の発音にならなければなりません。もし「エ」と発音したとしたら、相手は理解できなくなります。

②「弱音」は実はどうでもいい：短く低音で発音する

日本人が発音を間違えやすい一番の理由は、単語を1つ1つきれいに発音しようとするからです。

アメリカ人は「強音」だけをはっきりと発音し、残りの弱音をぐちゃぐちゃに発音します。

(音声) 5-4

①にあげた例の「tomorrow」の「to」は弱音です。「to」の母音である「o」を「オウ」と発音せずに、「エ」「ア」「イ」などと発音しても、相手に通じる意味は実は変わりません。

そのくらい英語は「弱音」よりも「強音」が大事なのです。弱音の発音のポイントは、短く低音で発音することです。

注意：日本語のイントネーション同様、地域によって強弱が違ふことがあります。

③ファンクションワードは弱音、コンテンツワードは強音

普段会話をしている時に、単語を1つずつはっきりと発音しませんよね。言葉を自然に並べて話します。英語の強弱は、単語だけではなく、文章のレベルにも影響を及ぼします。

強音は意味を持つ音です。弱音は特に意味を持たない音です。したがって、文章を話す際には重要な言葉をしっかり「強音」で発音し、重要ではない言葉は「弱音」でさらっと軽く発音します。

文章の中で大事な意味を持つ言葉は**名詞、動詞、形容詞、副詞**で「コンテンツワード」と言います。

文章の中で特に大事ではない言葉は「**to, for, from**」などの**前置詞**で「ファンクションワード」と言います。

ファンクションワードが抜けたとしても、全体的な意味は伝わります。しかしコンテンツワードが抜けたら、意味が大分変わるはずです。

なのでコンテンツワードをしっかりと「強音」で発音して、ファンクションワードを弱音で発音します。この場合、強音は「この言葉を気にして下さい」ということを示します。

注意：「I, you, my, her」などの代名詞は名詞ですが、弱音で発音します。

でももし「誰」を強調したい時はのであれば、代名詞は文章の大事な意味になり、強音で発音します。

④例文

コンテンツワードはネイティブにはとても重要なため、強音でしっかりと発音します。逆に、ファンクションワードは軽く聞いているだけなので、弱音でさらっと軽く発音します。

例えば以下の文章では、どの言葉が強音になるのでしょうか？

(音声) 5-5

例文：「I went to school yesterday.」

まずは、コンテンツワードを見つけましょう。

コンテンツワード： 「went」 「school」 「yesterday」

次に、ファンクションワードを見つけましょう。

ファンクションワード： 「I」 「to」

「I」と「to」をほぼ発音しなくても、ネイティブにはしっかりと意味が伝わります。

短縮できる言葉はファンクションワード

ファンクションワードは弱音で発音するので、ネイティブは話す時によく短縮します。

例① 「I will go」 → 「I'll go」

(音声) 5-6

例文：「I will go to the store」

「I」と「will」はファンクションワードなので繋げて「I'll」になりますが、「go」はコンテンツワードなのでそのまましっかり「強音」で発音します。

例② 「did you」 → 「didja」

(音声) 5-7

例文：「Did you eat lunch?」

「did」は動詞ですが、この場合はメインの動詞「eat」の時間を表現する言葉ですからファンクションワードになり、「you」と繋げて「didja」と発音します。

このような短縮形の表現は山のようにあるので、このテキストで全ては教えられません。

ここで大事なポイントは、並んだファンクションワードは「繋がって1つの言葉になることがよくある」ということです。

「伝わる英語」を発音するために・・・

ここでご紹介したルールを意識しながら英語を話すことで、あなたの発音は確実に良くなります。

これから英語を学ぶ際、以下の3つのことに気をつけましょう。

①単語を学ぶ時、「強弱を意識する」

「強弱」が単語の意味を左右する最も大事なポイントなので、新しい単語を学ぶ時には、意味だけではなく「強弱」を意識して覚えて下さい。

②話す時は、「コンテンツワード」だけを意識する

コンテンツワードは相手が話を聞き取るのにとても重要です。ファンクションワードは気にせず、コンテンツワードを「強音」でしっかりと発音することに集中してください。

③しっかり発音しない「弱音」も大事

単語の音を1つ1つ完璧に発音するのではなく、強弱のリズムに慣れてみてください。ぐちゃぐちゃであるべき「弱音」のところをしっかりと発音すると、ネイティブは逆に聞き取りづらくなってしまいます。

今日あなたは、他では学べない英語の発音の秘訣を学びました！

ここで学んだことを意識しながら、ぜひ実際に英語を発音してみてください。

第6章を読む前に・・・

①このセクションのビデオレッスンを観てください。

②Speed speakingレッスンを受けてください。

③復習シートで復習してください。

第5章 | 復習シート

以下の文章で、
コンテンツワードとファンクションワードを書いてください。

1. Tomorrow I'll go to school.

コンテンツワード： _____

ファンクションワード： _____

2. What will you do at work tomorrow?

コンテンツワード： _____

ファンクションワード： _____

3. That sounds really difficult! I'm sorry to hear that.

コンテンツワード： _____

ファンクションワード： _____

4. Did you hear what happened at work yesterday?

コンテンツワード： _____

ファンクションワード： _____

5. There are so many things I want to tell you.

コンテンツワード : _____

ファンクションワード : _____

6. I have been studying English for about ten years now.

コンテンツワード : _____

ファンクションワード : _____

回答

1. Tomorrow I'll go to school.

コンテンツワード : Tomorrow, go, school

ファンクションワード : I'll, to

2. What will you do at work tomorrow?

コンテンツワード : What, do, work, tomorrow

ファンクションワード : will, you, at

3. That sounds really difficult! I'm sorry to hear that.

コンテンツワード : That, sounds, really, difficult, sorry, hear, that

ファンクションワード : I'm, to

4. Did you hear what happened at work yesterday?

コンテンツワード : hear, happened, work, yesterday

ファンクションワード : did, you, what, at

5. There are so many things I want to tell you.

コンテンツワード : so, many, things, want, tell

ファンクションワード : there, are, I, to, you

6. I have been studying English for about ten years now.

コンテンツワード : studying, English, ten, years, now

ファンクションワード : I, have, been, for, about,

第6章 | 自分の英語は相手に伝わってる？

相手に直接確認して会話を続ける方法

あなたは、外国人と話しています。最初の挨拶のところは問題なく進められましたが、会話の途中で何かが違うと感じます。

さっきまで満面の笑顔だった相手は、目がなんだかうつろです。笑顔もちょっと弱くなり、すこし緊張しているようです。

「あれ！私の言ってること伝わってるかな？わかってくれてるかな？」と不安に思い、あなたも緊張して言葉が出てきません。

会話の途中でスムーズに「私の英語分かりますか？」と聞いていたら、この状況は回避できたはず！

もし相手の答えが「No（わかりません）」だったら、違う言葉で言い直したり、わかってくれるまで丁寧に話せばよかったのです。

今まで「会話を救う英コミ」で学んできたことをしっかり練習すれば、相手があなたの言っていることを分からないということは少なくなるはずです。

でも万が一、あなたの言ったことが伝わらなかった場合、どうすればいいのでしょうか？

相手に伝わってなくても大丈夫！

まず、言っておきたいことがあります。頑張って話しているのに、相手があなたの英語をわからなかったとしても、がっかりしないでください。

ネイティブ同士でも、正しい言葉で言いたいことを伝えられなくてコミュニケーションが行き詰まってしまうことが意外と多いです。

僕でさえ、アメリカ人の友達に大事なことを伝えようとしても「Arthur, I have no idea what you're talking about. (アーサー、何言ってるかさっぱりわからないよ)」と言われることがあります。

でも、あなたが相手に伝わっているかどうか常に心配してしまうと、その気持ちが相手にも伝わり、さらに気まずくなるかもしれません。

ですから、伝わっていなかったことにがっかりしたり、伝わっているか不安に思ったりしないでください。日本語でもコミュニケーションをとる上で、「伝わらないこと」ってよくあることですよね？

大事なのは、伝わっているか確認すること、そして、伝わるように何度でも話すことです。

では、はじめましょう。

相手に伝わっているかどうかを確認する ネイティブが実際に使うコツ

もしかすると、あなたは相手に伝わらないことを言っているかもしれません。もしかすると、相手は何も言わずにわかっている振りをするかもしれません。

あなたの話が実際相手に伝わっているかどうかは、かなり分かりづらいです。

では相手が教えてくれなくても、伝わっているか確認するにはどうすればいいのでしょうか？

ボディーランゲージを気にする

前にお伝えしたように、コミュニケーションは言葉が占める割合がたった7%です。残りの93%はボディーランゲージと声のトーンです。ということは、相手が直接言ってくれなくても、相手のボディーランゲージからあなたの言っていることが分かっているかどうかきくと判断できるはずです。

以下の4つのポイントは、
相手があなたの言ったことをわかっていない時のヒントです。

目線を合わせなくなったり
目がうつろになっていたり
体があなたから遠くなったり
急にひきつったり

ではこんな時、どうすればいいのでしょうか？

相手が分かっているかどうかを確認する

相手に、とてもシンプルで簡単な質問をするだけで大丈夫です！

(音声) 6-1, 6-2

「Do you know what I mean?」

私の言っている意味が分かりますか？

「Does that make sense?」

私が言ったこと、伝わりましたか？

どちらでも自由に使えます。言いやすい方をぜひ使ってみてください。

もしあなたの言ったことが伝わっていたのであれば、前の章で学んだように会話を続けます。

もし相手に伝わっていなかったとしたら・・・

言いたいことを明確にする

言いたいことを簡単な言葉で説明する

相手にちゃんと分かってもらうために、単語を焦って考えるのではなく、他の言い方をしてみることも大切です。第3章で学んだように、言いたいことを簡単な言葉で説明してみてください。

簡単な言葉で説明すれば、相手もわかってくれるはずです。まずは、短い文章で説明することから始めましょう。

A: ... What do you mean?
(えっと・・・どういう意味?)

B: The paper. It has train lines. You know the way.
(紙で、電車の路線が書いてあって、行き方がわかるやつ。)

A: Oh... the train map! (ああ！"train map"ね！)

言い換えてみる

他の言い方を知っていれば、それを言ってみます。
その前に、「I mean... (つまり～)」と言います。

A: The coffee is drastic here!
B: What do you mean?
(え? なんて?)
A: Oh, I mean the coffee's taste is good!
(あ、つまりコーヒーが美味しいってこと!)

言い方を教えてほしいと相手に頼む

もし他の言い方が思いつかない場合、「言い方を教えてほしい」と相手に直接頼みます。第3のセクションで学んだように、言葉はイメージや感覚を伝えるものなので、辞書で調べたり日本語の英訳を頼むよりも、以下のように言い方を教えてほしいと頼むのがベストです。

(音声) 6-3, 6-4, 6-5

こんな時何て言うのですか?

例1: What do you say when ...?

例2: When ... what do you say?

例3: In this kind of situation, what do you say?

「...」のところは、第3章で学んだ「簡単に説明する方法」を使います。
この言い方を使えば、辞書みたいな直訳ではなく、伝えたいイメージや感覚に1番ふさわしい言い方を相手から学べます。

例1の場合:

(音声) 6-6

A: What do you say when you feel happy and you want to try
なんか嬉しくて一生懸命頑張らなきゃって感じる時何て言
B: You say "I'll do my best!"
"I'll do my best!"って言うね。

例2の場合:



(音声) 6-7

A: When you want to say something, but you can't think of the words, what do you say?

なんか言いたいことがあるのだけど、その言葉が思い出せない時って何て言う？

B: You say "It's on the tip of my tongue"

"It's on the tip of my tongue"って言うね。

これでもう、相手があなたの英語を理解していなくても、あなたはそれに気づいて確認しながら、問題なく会話を自然に続けることができます！

この章で学んだことを実践すれば、自分の英語が伝わっているかどうか、もう悩む必要はありません！

「会話を救う英コミ」を修了するまえに・・・

①このセクションのビデオレッスンを観てください。

②Speed Speakingレッスンを受けてください。

③練習ビデオを観てください。

6日間のレッスン、お疲れさまでした！！

「会話を救う英コミ」を通して、あなたはネイティブが実際に使っている、英語コミュニケーションのコツを学びました。実際に使って慣れるためにも、何回も練習してみてください。

明日は今までお届けしたコンテンツの「総集編」をお届けします！

Thank you for singing up for 「会話を救う英コミ」！

I hope to talk to you soon!!

Arthur Zetes